

－課題を進めるにあたって－

「住宅設計」では、対象となる敷地（及びその周辺）の過去、現在、未来を検証し、これからの社会で継続的に自然や都市、社会と関わりあっている住居の在り方を提案してもらいたい。

具体的には、そこに居住する家族を想定し、その場所における居住環境を考えながら、リアリティのあるプランを考え、機能的な面を担保したうえで設計することを目指す。

また、ランドスケープとの関係、庭や窓からの景色、空間どうしの関係とその広さ、家具の設え、建具の構成等、これら暮らしを豊かにできることについて多くのスタディを積み重ねてほしい。

そして、人間の様々な行為の在り方を理解し、具体的な空間としてつくりだしてほしい。

「身支度をする」「料理する」「食べる」「入浴する」「洗濯する」「排泄する」「寛ぐ」「寝る」などの基本的な生活行為を理解することは、住宅を設計することの基礎となる。

基本的な生活空間のスケールを把握し、それを機能的な空間に計画し、プラスアルファとして各個人が望む特殊解的な空間を融合させることもテーマの一つとなる。

最後に、私たちが暮らす都市や自然は様々な要素からできているが、外と断絶してしまうような生活では味気ないし、自然や都市との関わりを積極的にしたいからと言って、ただ開くだけでもプライバシーは保てない。

その場所に住む利点や難しさをしっかりと考慮し、想定される居住者にあった魅力ある住宅を提案してほしい。

課題 『外と内：多様な関係性を生み出す傾斜地に建つ住宅』

～外と内の豊かで多様な関係性をもつ住空間～

住宅は我々の生活のベースとなる場所であり、多くの時間を過ごす場所である。
様々な事柄について、その機能や条件を整理しながら心地よく美しい暮らしができる場所を創ることは、我々が生きていく上でとても大切なことである。
この課題では、「外」と「内」の豊かで多様な関係性をもつ住空間を提案していく。

敷地内には出来る限り現在位置のまま保存すべき樹木と巨石がある。
これらを景観や庭やインテリアなどとしてプランニング上に取り込み保存できるよう計画すること。
家族構成は40歳代夫婦と子供二人（長男：高校3年生、長女：中学3年生）の4人家族であり、家族が日常的に生活する住宅とする。

建築によって生み出すことのできる生活の豊かさを突き詰め、自然豊かな場所での、あなたが理想とする住宅を提案してほしい。

条件 / 実際の法規を意識して計画する。詳細は以下を参照すること。

- ・規模は自由（地下の有無は自由・地下を設ける場合はドライエリアを設けるか、適切な通風換気ができる開口部等を設けること）
- ・地階は地上階の床面積の1/2までは容積対象から除外（面積に含まなくてよい）
- ・第一種住居地域・建ぺい率50%・容積率100%・最高高さ10m程度（道路面より）
（斜線制限は特に考慮しなくてよい）
- ・防火その他の地域地区については考慮しなくてよい。
- ・駐車場2台分（セダンタイプ1,800×4,800・平置き）
- ・外部空間を積極的に利用し、一体的に計画する。
- ・建主家族を具体的に想定し、その家族のための住宅に必要なスペースがあれば提案する。
（ゲストハウス・ギャラリー・カフェ・ガレージ・工房・アトリエなど）

敷地

- ・海に見える傾斜地 架空の敷地設定だが、具体的なイメージや場所は各自が設定すること。（別紙敷地図参照）

提出物

- * A3用紙10枚程度に以下のものをレイアウトし、プレゼンテーションしたもの。
 - ・コンセプト（設計主旨）及びダイアグラム
 - ・敷地及び周辺環境の調査、分析
 - ・各階平面図 S=1/100
 - ・立面図4面 S=1/100
 - ・断面図2面以上 S=1/100
 - ・矩計図1面（断面詳細パース兼用） S=1/30
 - ・建築概要書
 - ・面積表
 - ・仕上表
 - ・外構図
 - ・内観パース2点以上、外観パース1点以上
 - ・模型写真4枚以上

* 模型（建物の室内の様子及び敷地を含めた周辺環境や植栽などの外構計画が分かるもの S=1/100）

マトマ ノイエ

広島県福山市 瀬の浦

作品用途：住宅
課題名：「外と内」：多様な関係性を生み出す傾斜地に建つ住宅」

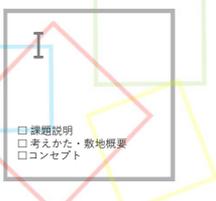


アプローチ

西面外観

アウトドアリビング

2人のテラス



- 課題説明
- 考えかた・敷地概要
- コンセプト

□ 課題説明

住宅は我々の生活のベースとなる場所であり、多くの時間を過ごす場所である。様々な事情について、その機能や条件を整理しながら心地よく美しく暮らしていただける場所を創ることは、我々が生きていく上でとても大切なことである。この課題では、「外」と「内」の豊かで多様な関係性をもつ住空間を提案していく。建築にとって生み出すことのできる生活の豊かさを突き詰め、自然豊かな場所での、あなたが理想とする住宅を提案してほしい。

□ 考えかた・敷地概要

基礎のフレームを中心にフレームの重なり合う空間が家族の集う空間として建築のボリュームを定義付け、そのフレームをずらすことで生まれる空間の動き、それを開く、閉じることによって生まれる繋がりと視線、開放性と落ち着きとなる。

年間を通して温暖な瀬戸内海を望むこの場所だからこそ生まれる、自然や家族との新たな関係性を生み出したいとの思いから、「内と外の新たな関係性を持つ住宅」を提案します。



広島県福山市の沼隈半島南端にある港湾及びその周辺海域。



□ コンセプト

- 「外」と「内」の豊かで多様な関係性を持つ住空間
- ・内部からも自然を感じる空間
 - ・外部への開口のとり方
 - ・家族の気配を感じられる空間

内と外を完璧に分けず、曖昧な空間（隙間）を作り出す
場所によってさまざまな機能を組み合わせたり、多様な意味を持たせることで魅力的な空間となる

スキマ

スキマとは...
物と物のあいだであり、ほんの少しのコミュニケーションや気配、関係性の中に存在する。物理的な隔たりだけでなく、そこに変化を与えたり、気配をつくり、安心感や開放感を与えたりすることで、スキマを有効活用することができるのではないだろうか？



玄関 ±0

山のテラス

夫婦寝室

子供部屋1

2人のテラス

アトリエ兼セカンドリビング -1500

スタディースペース -3000

キッチン

ダイニング -3800

アウトドアリビング(外部)

リビング -4000

子供部屋2

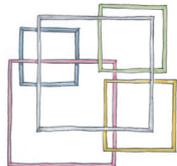
洗面 -2600

浴室

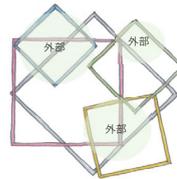
海のテラス



□ ダイアグラム (平面)



基礎のフレームを中心にフレームの重なり合う空間が家族の集う空間となるようにバラバラに配置する



角度をふり、外部空間をフレームの内に取り込むことで外と内の曖昧な空間を作り出す

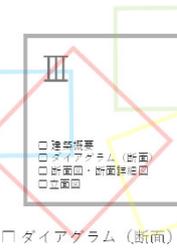
緑を内に取り込みつつ、フレームを使って光や風を取り込む



景色を楽しむ空間をあえて作ることで落ち着く空間となる

リビングを外と内作ることで多様な使い方ができる

内(外部)の延長とすることで多様な関係性を内(内部)にも感じることができる



□ ダイアグラム (断面)



2枚の床だと視線が遮られてしまう

高さの違う床を配置し、どこからでも家族の気配を感じることができる

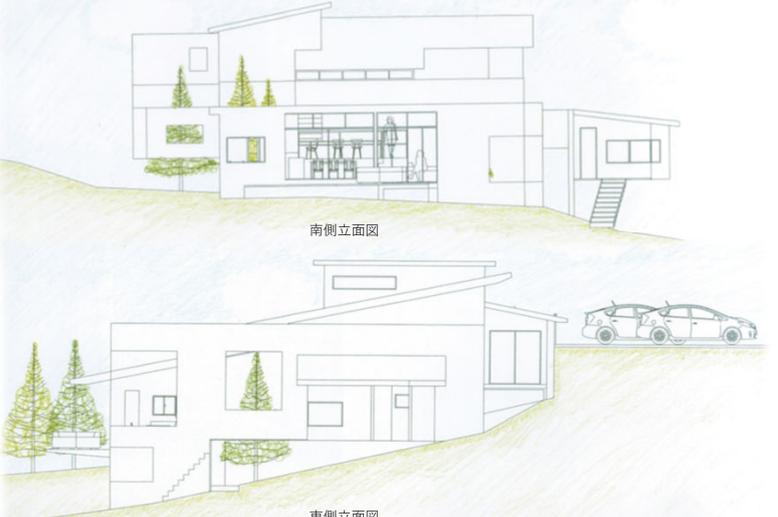
敷地に合わせて床を落とし込む

建築概要

構造・技法
 主要構造・構造 木造1階建
 基礎 ベタ基礎
規模
 階数 1階
 軒高 3252mm 最高高さ 7628mm
 敷地面積 649㎡
 建築面積 207.5㎡
 (建築率 32%)
 延床面積 147.3㎡
 (容積率 23%)
敷地状況
 第一種住居地域・防火地域指定なし(法22条地域)
 道路幅員 北側6m 駐車台数 2台

外部仕上げ
 屋根 ガルバリウム鋼板立ハゼ葺き
 外壁/ラス網セルタル金ゴテ仕上げの上、漆喰左官仕上げ
 テラス アウトドアリビング/ウリンt30
内部仕上げ
 リビング・ダイニング・夫婦寝室
 ・子供部屋・スタディースペース
 床/フローリングボードt=15 ウニス磨き
 壁/石膏ボード下地t2.5 クロス張り
 天井/下地板 耐水合板t=5.5 クロス張り
 キッチン
 床/フローリングボードt=15 ウニス磨き
 壁/不燃防水石膏ボード下地t2.5
 天井/100均等タイルt=5張り
 天井/ロックワール化粧音板 クロス張り

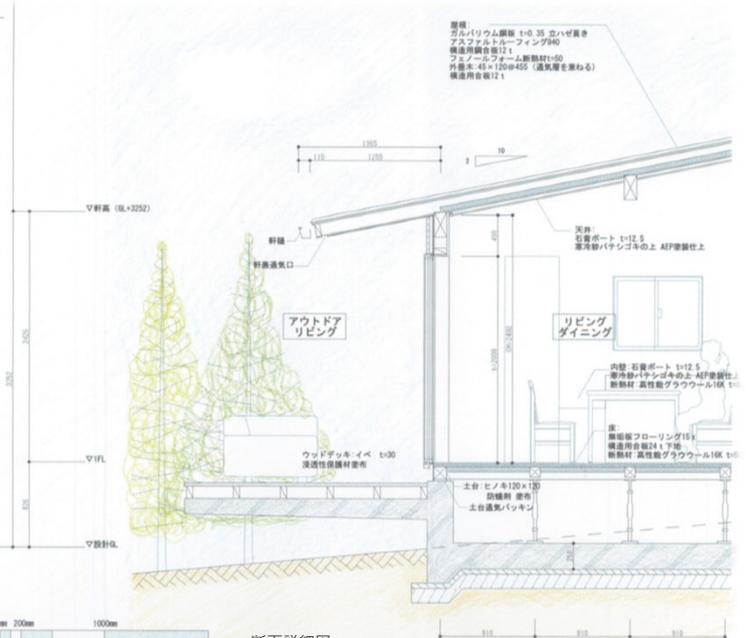
南側立面図



東側立面図

X-X 断面図

Y-Y 断面図



断面詳細図